

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限（2012年3月30日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	トレンド・アロケーション・オープン	ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）受益証券、マネー・プール マザーファンド受益証券
	ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）	先進国の国債、世界各国のETF等
	マネー・プールマザーファンド	わが国の公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各国の株式・債券・リート等の幅広い資産へ、実質的に投資します。 ・安定的な資産成長のために、市場環境に応じて機動的な資産配分を行います。 ・為替変動リスクの低減をはかるため、外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行います。 	
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。 	
分配方針	<p>毎年1月25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

トレンド・アロケーション・オープン



第6期（決算日：2018年1月25日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「トレンド・アロケーション・オープン」は、去る1月25日に第6期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

■ ファンドマネージャーのコメント

おかげさまで、トレンド・アロケーション・オープン（以下、トレアロ）は、2018年1月25日に第6期の決算を迎えました。当ファンドを資産運用のパートナーに選んでいただき、そして、継続保有いただいているみなさまに、心よりお礼申し上げます。

さて、当期（2017年1月26日～2018年1月25日）におけるトレアロの運用成果は11.9%の上昇となりました。2012年3月30日の設定来の成果を決算期毎に見ますと^(注)、当期は過去最高のパフォーマンスとなりました。基準価額の水準におきまして、2017年7月21日に過去最高値水準を約2年3ヵ月ぶりに更新しました。当ファンドでは『長期投資による成果を資産の成長を通じて還元していきたい』との考えを重視しております。したがって、トレアロにおいては基準価額の水準こそが、受益者のみなさまにファンドの足跡と実績を示す指標となります。その意味で、当期における高値更新は、長期投資の効果を実感いただくという観点から非常に重要なトピックになったと思っております。

(注) 第1期は変則決算のため計算期間は約10ヵ月

当期における金融市場の焦点は、米国のトランプ大統領が、どのように経済・外交政策を進めていくのかという点にありました。しかし、現実的には、2017年年末に可決された税制改革法案まで、特に目立った成果はありませんでした。また、政権内で相次いだ辞任・更迭、北朝鮮問題に代表される外交面での不用意な発言などは、むしろ金融市場にとってはネガティブな要因にもなりました。にもかかわらず、そうした米国での政情に対する不透明感が金融市場の大きな痛手とはならなかったのは、世界経済が予想以上に堅調に推移したためと見ています。特に、先進国と新興国の景気が足並みを揃える形で世界経済の拡大は、株式市場をはじめとする高リスク資産の上昇につながりました。インフレ圧力が抑制され、長期金利が安定的に推移したことも、リスク資産への資金流入を支えました。

このような環境下、当期のトレアロ運用につきましては、組入比率の調整によって個別資産ごとの変動はありましたが、株式などの高リスク資産への組入比率を比較的高めに保つ運用を行ってまいりました。その結果、株式市場の好リターンを享受することができました。

運用担当者として、来期以降も、当期のような良好な投資環境が続くことを願ってやみません。しかし、過去を振り返ってみれば、金融市場に何らかの調整や波乱が訪れる可能性を否定することはできません。ただし、そのような局面が訪れたとしても、長年の実績を有する一貫した運用戦略を遂行していくことが我々の使命であり、長期的にみなさまの資産運用にプラスの成果をもたらすことができると考えております。

最後になりますが、改めてトレアロへのご愛顧に対する感謝を申し上げますとともに、長期の資産運用におけるパートナーとして、引き続き、ご活用いただけますようお願い申し上げます。



アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパン株式会社
ヘッド・オブ・マルチアセット・ジャパン
シニア・ポートフォリオ・マネージャー
スヴェトザー・ミランチェフ

上記は、アリアンツ・グローバル・インベスターズの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率	純資産総額
		税込み	分配	騰落				
	円	円	円	%	%	%	%	百万円
2期(2014年1月27日)	10,986	0	0	6.1	0.0	—	97.3	6,705
3期(2015年1月26日)	11,848	0	0	7.8	0.0	—	99.0	31,788
4期(2016年1月25日)	11,054	0	0	△ 6.7	0.0	—	99.0	88,670
5期(2017年1月25日)	11,586	0	0	4.8	—	—	99.0	115,711
6期(2018年1月25日)	12,967	0	0	11.9	—	—	99.3	137,401

- (注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。
- (注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率
	円	騰 落 率			
(期 首) 2017年 1月25日	11,586	—	—	—	99.0
1月末	11,537	△ 0.4	—	—	99.0
2月末	11,772	1.6	—	—	99.0
3月末	11,835	2.1	—	—	99.0
4月末	11,936	3.0	—	—	99.0
5月末	12,061	4.1	—	—	99.0
6月末	12,019	3.7	—	—	99.0
7月末	12,163	5.0	—	—	99.0
8月末	12,186	5.2	—	—	99.0
9月末	12,269	5.9	—	—	99.0
10月末	12,488	7.8	—	—	99.0
11月末	12,581	8.6	—	—	99.2
12月末	12,684	9.5	—	—	99.3
(期 末) 2018年 1月25日	12,967	11.9	—	—	99.3

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第6期：2017/1/26～2018/1/25)

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ11.9%の上昇となりました。



基準価額の主な変動要因

上昇要因

組入比率を高め維持した先進国株式や新興国株式などの資産が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

投資環境について

(第6期：2017/1/26～2018/1/25)

◎国債市況

- ・米国のインフレ率が落ち着いており、米連邦準備制度理事会（FRB）による今後の利上げペースが緩やかになるとの観測などから、米国の長期金利は2017年9月にかけて低下しました。その後はトランプ政権の税制改革法案の成立や原油価格の上昇などを受けて上昇しました。
- ・欧州の長期金利はもみ合いとなりました。
- ・日本では、日銀によるイールドカーブ・コントロール政策を受けて、金利は小幅な動きとなりました。
- ・新興国の金利は概ね低下しました。

◎株式市況

- ・世界の株式市場は、世界的な景気拡大や堅調な企業業績、良好な金融環境などを受けて上昇しました。
- ・米国の株式市場は、好調な企業業績などから上昇しました。
- ・欧州では、フランス大統領選挙の結果を受けて政治的混乱の懸念が後退したことなどが好感され上昇しました。
- ・日本の株式市場は、好調な企業業績に加えて安倍政権の政権運営の安定性への期待などから上昇しました。
- ・新興国株式市場も景気拡大などを受けて上昇しました。

◎リート、コモディティ

- ・リートは、米国では金利上昇などから下落しました。他の地域では上昇しました。
- ・原油価格は、期の前半には需給悪化懸念などを受けて下落しました。期の後半は石油輸出国機構（OPEC）の減産延長による需給改善期待等から上昇しました。
- ・金価格は、米ドルがユーロや円に対して軟調に推移したことなどから上昇しました。

◎国内短期金融市場

<無担保コール翌日物金利の推移>

- ・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。日銀のマイナス金利の適用を受けて、足下ではマイナス0.04%程度で推移しました。

<国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移>

- ・日銀による短期国債の買入れなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りは概ねマイナス0.1%を下回る水準で推移しました。短期国債の需給緩和などから2017年7月上旬にかけてマイナス0.1%を超える水準まで上昇しました。その後、地政学的リスクの高まりや短期国債の需給引き締めなどから、11月下旬にかけてマイナス0.25%程度まで低下しました。期末にかけては短期国債の需給緩和などから上昇し、足下はマイナス0.15%程度で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<トレンド・アロケーション・オープン>

- ・円建の外国投資信託であるダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）受益証券に投資を行いました。また、マネー・プール マザーファンド受益証券へも投資を行いました。
- ・その結果、基準価額は期首に比べ、上昇しました。

<ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）>

（当記載は、アリアンツ・グローバル・インベスターズの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。）

- ・先進国の国債に投資を行うとともに、世界各国のETF等を利用することで、世界各国の株式・債券・リート等の幅広い資産に投資しました。また、組入比率の調整を目的として、世界各国の先物取引も利用しました。
- ・為替変動リスクの低減をはかるため、外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いました。
- ・ポートフォリオは、①基本資産配分を行う「トレンド・アロケーション」、②基本資産配分に対する微調整を行う「タクティカル・アセット・アロケーション」、③下落リスクへの対応を行う「ダウンサイド・リスク・マネジメント」を活用して構築しました。

【トレンド・アロケーション】

期を通じて高リスク資産の比率を高めに維持しました。その結果、期末の資産クラス別構成比は高リスク資産66.8%、低リスク資産33.2%となりました。

【タクティカル・アセット・アロケーション】

基本資産配分に対する微調整を行う「タクティカル・アセット・アロケーション」では、期を通じて、高リスク資産の見通しを概ね強気に、低リスク資産の見通しを概ね弱気としました。

【ダウンサイド・リスク・マネジメント】

下落リスクへの対応を行う「ダウンサイド・リスク・マネジメント」による短期債券・キャッシュの組入比率の引き上げは行いませんでした。

- ・上記の結果、組入比率を高めに維持した先進国株式や新興国株式などの資産が上昇したことなどが基準価額のプラスに寄与しました。

(ご参考)

資産クラス別構成比

期首（現地2017年1月24日）

資産クラス		比率	
低リスク資産	先進国国債	16.1%	27.9%
	先進国社債	5.4%	
	新興国国債	5.5%	
	現金等	0.9%	
高リスク資産	先進国株式	55.7%	72.1%
	新興国株式	5.4%	
	コモディティ	9.6%	
	リート	1.4%	

期末（現地2018年1月24日）

資産クラス		比率	
低リスク資産	先進国国債	14.0%	33.2%
	先進国社債	7.6%	
	新興国国債	8.3%	
	現金等	3.2%	
高リスク資産	先進国株式	47.0%	66.8%
	新興国株式	12.2%	
	コモディティ	4.5%	
	リート	3.2%	



- ・比率はダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）の純資産総額に対する割合です。
- ・現金等は、短期債券を含みます。また、為替ヘッジの含み損益を含むためマイナスになることがあります。
- ・資産クラス別構成比は、アリアンツ・グローバル・インベスターズからの情報提供を基に表示しています。
- ・各数値は表示桁数未満で四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

(注) 当記載は、アリアンツ・グローバル・インベスターズの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

<マネー・プール マザーファンド>

- ・わが国のコール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、利子等収益の確保および適正な流動性の保持を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は期首と比べて下落しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 (単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第6期
	2017年1月26日～2018年1月25日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,967

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<トレンド・アロケーション・オープン>

◎今後の運用方針

- ・引き続き、円建の外国投資信託であるダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）受益証券に投資を行います。また、マネー・プール マザーファンド受益証券へも投資を行います。

<ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）>

◎運用環境の見通し

- ・グローバル経済は緩やかな成長を維持する可能性が高く、企業収益の増加を背景に中長期的には、株価の更なる上昇を想定しています。一方で、現在のバリュエーションの水準を考慮すると、短期的に株価の変動率が大きくなる可能性があるかとみています。良好な経済を背景に、債券利回りには緩やかな上昇圧力が継続する可能性が高いと思われます。特に米国では政府による拡張的財政政策と緊縮的金融政策が金利上昇につながるとみられます。

◎今後の運用方針

(当記載は、アリアンツ・グローバル・インベスターズの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。)

- ・先進国の国債に投資を行うとともに、世界各国のETF等を利用することで、世界各国の株式・債券・リート等の幅広い資産に投資します。
- ・為替変動リスクの低減をはかるため、外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行う方針です。
- ・ポートフォリオは、①基本資産配分を行う「トレンド・アロケーション」、②基本資産配分に対する微調整を行う「タクティカル・アセット・アロケーション」、③下落リスクへの対応を行う「ダウンサイド・リスク・マネジメント」を活用して構築します。

<マネー・プール マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・わが国の国債や短期国債(国庫短期証券)現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持をめざした運用を行う方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年 1月26日～2018年 1月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 83 (39) (39) (4)	% 0.683 (0.325) (0.325) (0.033)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数) ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価 交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価 ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用)	1 (1)	0.007 (0.007)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	84	0.690	
期中の平均基準価額は、12,127円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2017年 1月26日～2018年 1月25日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド (JPY)	千口	千円	千口	千円
		19,298,726	21,966,070	11,996,558	13,311,941

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2017年1月26日～2018年1月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年1月25日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
		千口	千口	千円	%
ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド(JPY)		106,902,446	114,204,614	136,474,514	99.3
合 計		106,902,446	114,204,614	136,474,514	99.3

(注) 比率はトレンド・アロケーション・オープンの純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
マネー・プール マザーファンド		997	997	1,001

○投資信託財産の構成

(2018年1月25日現在)

項 目	当 期 末	比 率
	評 価 額	
投資信託受益証券	千円 136,474,514	% 98.0
マネー・プール マザーファンド	1,001	0.0
コール・ローン等、その他	2,725,339	2.0
投資信託財産総額	139,200,854	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年1月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	139,200,854,643
コール・ローン等	2,725,338,095
投資信託受益証券(評価額)	136,474,514,653
マネー・プール マザーファンド(評価額)	1,001,895
(B) 負債	1,799,734,091
未払金	791,302,826
未払解約金	582,378,996
未払信託報酬	421,727,919
未払利息	4,350
その他未払費用	4,320,000
(C) 純資産総額(A-B)	137,401,120,552
元本	105,959,864,171
次期繰越損益金	31,441,256,381
(D) 受益権総口数	105,959,864,171口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,967円

<注記事項>

- ①期首元本額 99,869,375,143円
 期中追加設定元本額 56,374,326,467円
 期中一部解約元本額 50,283,837,439円
 また、1口当たり純資産額は、期末12,967円です。

②分配金の計算過程

項 目	2017年1月26日～ 2018年1月25日
費用控除後の配当等収益額	996,301,738円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	7,758,957,705円
収益調整金額	20,225,157,905円
分配準備積立金額	2,460,839,033円
当ファンドの分配対象収益額	31,441,256,381円
1万口当たり収益分配対象額	2,967円
1万口当たり分配金額	-円
収益分配金金額	-円

○損益の状況 (2017年1月26日～2018年1月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,069,586,156
受取配当金	1,070,621,460
受取利息	21,155
支払利息	△ 1,056,459
(B) 有価証券売買損益	11,018,233,535
売買益	13,945,086,662
売買損	△ 2,926,853,127
(C) 信託報酬等	△ 828,071,787
(D) 当期損益金(A+B+C)	11,259,747,904
(E) 前期繰越損益金	△ 43,649,428
(F) 追加信託差損益金	20,225,157,905
(配当等相当額)	(15,574,996,659)
(売買損益相当額)	(4,650,161,246)
(G) 計(D+E+F)	31,441,256,381
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	31,441,256,381
追加信託差損益金	20,225,157,905
(配当等相当額)	(15,574,996,659)
(売買損益相当額)	(4,650,161,246)
分配準備積立金	11,216,098,476

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

[お 知 ら せ]

- ①よりわかりやすい記載を目的として目論見書の特色の配分方針に「分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)」を掲載しました。
- ②当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。
(変更前(旧) <http://www.am.mufg.jp/> → 変更後(新) <https://www.am.mufg.jp/>)
(2018年1月1日)
- ③2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5% (法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。))の税率が適用されます。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2018年1月25日現在）

<マネー・プール マザーファンド>

下記は、マネー・プール マザーファンド全体(696,484千口)の内容です。

国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 599,999	% 85.8

（注）比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、トレンド・アロケーション・オープンが投資対象とする円建の外国投資信託証券です。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

名 称	ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（ＪＰＹ）
運 用 方 針	アリアンツ・グローバル・インベスターズの「ダイナミック・マルチアセット・プラス戦略」による運用を行います。 ・ダイナミック・マルチアセット・プラス戦略は、「基本資産配分（トレンド・アロケーション）」、「基本資産配分に対する微調整（タクティカル・アセット・アロケーション）」、「下落リスクへの対応（ダウンサイド・リスク・マネジメント）」を組合せることにより、リスク調整後の良好なリターンを獲得を目指します。
投資顧問会社	アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ゲーエムベーハー ※アリアンツ・グローバル・インベスターズのドイツ拠点です。
信 託 期 限	無期限
設 定 日	2012年3月30日
会 計 年 度	毎年3月末
収 益 分 配	原則として、毎月分配を行います。

ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（ＪＰＹ）

損益計算書、純資産変動計算書、投資明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

1. 損益計算書

(2017年3月31日に終了する期間)

(円で表示)

投資収益

受取利息（外国税額控除後）	¥	357,794,143
受取配当金（外国税額控除後）		1,163,082,993
投資収益合計		1,520,877,136

費用

運用受託報酬		414,311,417
会計処理および管理手数料		88,654,206
保管費用		26,130,952
名義書換事務代行手数料		10,685,619
専門家報酬		6,688,544
その他の費用		540,701
立替諸経費支払		213,494
費用合計		547,224,933

投資純利益 973,652,203

実現および未実現損益：

実現損益：

投資有価証券	(3,117,348,524)
先物取引	1,706,992,352
外国通貨取引および為替予約取引	(2,771,361,996)
実現純損益	(4,181,718,168)

未実現評価損益の純変動：

投資有価証券	5,997,705,455
先物取引	(79,523,882)
外国通貨取引および為替予約取引	2,098,793,571
未実現評価損益の純変動	8,016,975,144

実現および未実現損益（純額） 3,835,256,976

運用による純資産の増減（純額） ¥ 4,808,909,179

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

2. 純資産変動計算書

(2017年3月31日に終了する期間)

(円で表示)

運用による純資産の増減額：

投資純損益	¥	973,652,203
実現純損益		(4,181,718,168)
未実現評価損益の純変動		8,016,975,144
運用による純資産の増減額		4,808,909,179

分配額		(3,945,094,201)
ファンドユニットの取引による純資産の増減額		22,856,559,315
純資産の増減額		23,720,374,293

純資産

期首		94,174,023,516
期末	¥	117,894,397,809

Class A

ファンドユニット取引

ユニット数		
発行		21,837,908,162
買戻し		3,701,856,079
償還		(4,162,613,623)
ユニット増減数		21,377,150,618

金額		
発行	¥	23,412,921,612
買戻し		3,945,094,201
償還		(4,501,456,498)
ファンドユニット取引による増減額	¥	22,856,559,315

3. 投資明細表

(2017年3月31日現在)

(円で表示)

元本金額	銘柄名	公正価値
	FIXED INCOME SECURITIES (23.6%)	
	FRANCE (1.1%)	
	GOVERNMENT BONDS (1.1%)	
	France Government Bond OAT	
EUR 6,600,000	2.25% due 05/25/24	¥ 880,903,132
EUR 2,690,000	3.50% due 04/25/20	356,731,930
	TOTAL GOVERNMENT BONDS	<u>1,237,635,062</u>
	TOTAL FRANCE (Cost ¥1,408,454,901)	<u>1,237,635,062</u>
	GERMANY (1.3%)	
	GOVERNMENT BOND (1.3%)	
	Bundesrepublik Deutschland	
EUR 8,900,000	4.75% due 07/04/28	1,561,014,299
	TOTAL GOVERNMENT BOND	<u>1,561,014,299</u>
	TOTAL GERMANY (Cost ¥1,709,215,752)	<u>1,561,014,299</u>
	ITALY (3.3%)	
	GOVERNMENT BONDS (3.3%)	
	Italy Buoni Poliennali Del Tesoro	
EUR 8,450,000	4.25% due 09/01/19	1,098,127,024
EUR 16,500,000	7.25% due 11/01/26	2,822,029,387
	TOTAL GOVERNMENT BONDS	<u>3,920,156,411</u>
	TOTAL ITALY (Cost ¥4,479,677,148)	<u>3,920,156,411</u>
	JAPAN (1.5%)	
	GOVERNMENT BONDS (1.5%)	
	Japan Government 10 Year Bond	
JPY 581,700,000	1.00% due 09/20/21	611,116,569
	Japan Government 30 Year Bond	
JPY 900,000,000	2.00% due 09/20/40	1,147,230,000
	TOTAL GOVERNMENT BONDS	<u>1,758,346,569</u>
	TOTAL JAPAN (Cost ¥1,610,734,803)	<u>1,758,346,569</u>
	SPAIN (1.4%)	
	GOVERNMENT BONDS (1.4%)	
	Spain Government Bond ^(a)	
EUR 8,700,000	3.80% due 04/30/24	1,227,116,313
EUR 2,720,000	4.60% due 07/30/19	358,462,600
	TOTAL GOVERNMENT BONDS	<u>1,585,578,913</u>
	TOTAL SPAIN (Cost ¥1,691,767,809)	<u>1,585,578,913</u>
	UNITED KINGDOM (2.0%)	
	GOVERNMENT BONDS (2.0%)	
	United Kingdom Gilt	
GBP 3,200,000	3.75% due 09/07/19	485,641,550
GBP 1,600,000	3.75% due 09/07/21	256,720,434
GBP 2,600,000	4.25% due 06/07/32	498,786,315
GBP 3,600,000	4.25% due 12/07/49	825,027,918
GBP 1,640,000	5.00% due 03/07/25	301,886,960
	TOTAL GOVERNMENT BONDS	<u>2,368,063,177</u>
	TOTAL UNITED KINGDOM (Cost ¥2,900,059,853)	<u>2,368,063,177</u>
	UNITED STATES (13.0%)	
	GOVERNMENT BONDS (13.0%)	
	U.S. Treasury Bond	
USD 22,500,000	4.38% due 05/15/41	3,118,729,217
	U.S. Treasury Inflation Indexed Bonds	
USD 1,031,240	0.75% due 02/15/45	109,313,007
USD 684,055	3.38% due 04/15/32	106,982,963
USD 3,340,500	1.25% due 07/15/20	393,509,953

(2017年3月31日現在)

(円で表示)

元本金額	銘柄名	純資産比率	公正価値
	FIXED INCOME SECURITIES (23.6%) (continued)		
	UNITED STATES (13.0%) (continued)		
	GOVERNMENT BONDS (13.0%) (continued)		
	U.S. Treasury Inflation Indexed Bonds (continued)		
USD 2,104,120	0.13% due 01/15/23		¥ 234,111,590
USD 3,039,270	0.13% due 07/15/26		330,192,170
	U.S. Treasury Note		
USD 48,878,000	1.38% due 12/31/18		5,455,191,533
USD 20,000,000	1.63% due 08/15/22		2,180,849,979
USD 30,000,000	2.38% due 12/31/20		3,418,310,722
	TOTAL GOVERNMENT BONDS		<u>15,347,191,134</u>
	TOTAL UNITED STATES (Cost ¥15,183,951,157)		<u>15,347,191,134</u>
	TOTAL FIXED INCOME SECURITIES (Cost ¥28,983,861,423)		<u>27,777,985,565</u>
	口数		
	EXCHANGE-TRADED FUNDS (67.0%)		
	FRANCE (0.3%)		
281,153	LYXOR ETF FTSE 100		376,088,375
	TOTAL FRANCE (Cost ¥331,439,527)		<u>376,088,375</u>
	GERMANY (4.1%)		
1,158,300	iShares Euro STOXX 50 ETF DE		4,845,131,838
	TOTAL GERMANY (Cost ¥5,494,489,908)		<u>4,845,131,838</u>
	JAPAN (3.4%)		
2,580,000	TOPIX Exchange Traded Fund		4,037,700,000
	TOTAL JAPAN (Cost ¥3,883,466,639)		<u>4,037,700,000</u>
	LUXEMBOURG (3.0%)		
623,000	db x-trackers Euro Stoxx 50 UCITS ETF DR – 1C		3,496,331,668
	TOTAL LUXEMBOURG (Cost ¥3,922,275,154)		<u>3,496,331,668</u>
	UNITED STATES (56.2%)		
3,220,000	iPath Bloomberg Commodity Index Total Return ETN		8,431,510,480
201,745	iShares iBoxx \$ Investment Grade Corporation Bond Fund ETF		2,648,290,451
740,000	iShares JPMorgan USD Emerging Markets Bond Fund ETF		9,367,083,238
940,000	iShares MSCI Emerging Markets Minimum Volatility ETF		5,598,785,520
1,342,200	iShares MSCI USA Minimum Volatility ETF		7,130,662,223
393,723	iShares MSCI USA Momentum Factor ETF		3,622,812,342
453,272	iShares MSCI USA Quality Factor ETF		3,673,689,666
470,142	iShares MSCI USA Value Factor ETF		3,827,167,132
57,250	SPDR S&P 500 ETF Trust		1,502,522,435
1,200,000	Vanguard FTSE Emerging Markets ETF		5,306,432,949
294,921	Vanguard Intermediate-Term Corporate Bond ETF		2,836,162,383
665,000	Vanguard REIT ETF		6,114,505,028
73,300	Vanguard S&P 500 ETF		1,765,521,738
81,005	Vanguard Short-Term Corporate Bond ETF		719,118,154
250,419	Vanguard Small-Cap ETF		3,715,732,628
	TOTAL UNITED STATES (Cost ¥62,915,422,969)		<u>66,259,996,367</u>
	TOTAL EXCHANGE-TRADED FUNDS (Cost ¥76,547,094,197)		<u>79,015,248,248</u>
	TOTAL INVESTMENTS (Cost ¥105,530,955,620)	90.6%	¥ 106,793,233,813
	CASH AND OTHER ASSETS IN EXCESS OF LIABILITIES	9.4	11,101,163,996
	NET ASSETS	100.0%	¥ 117,894,397,809

^(a) 144A Security - Security exempt from registration under Rule 144A of the Securities Act of 1933. These securities may be resold in transactions exempt from registration, typically to qualified institutional buyers. Unless otherwise indicated, these securities are not considered illiquid.

(2017年3月31日現在)
(円で表示)

先物取引残高

Cash of ¥1,336,349,992 is held with the broker for the following open futures contracts on March 31, 2017.

ポジション	銘柄	限月	契約数		未実現 評価損益	
Long	Euro Stoxx 50 June Futures	06/2017	800	¥	82,661,719	
Short	Euro-BTP June Futures	06/2017	(170)		(6,864,723)	
Short	Euro-Schatz June Futures	06/2017	(100)		237,534	
Long	FTSE 100 Index June Futures	06/2017	519		(6,877,325)	
Long	Hang Seng Index April Futures	04/2017	80		(13,981,609)	
Short	Japan 10 Year Bond (OSE) June Futures	06/2017	(10)		(2,900,000)	
Long	Long Gilt June Futures	06/2017	200		27,280,544	
Long	S&P/TSX 60 Index June Futures	06/2017	65		43,532	
Long	S&P 500 E-Mini June Futures	06/2017	100		(5,260,342)	
Long	SPI 200 June Futures	06/2017	315		59,613,699	
Long	Swiss Market Index June Futures	06/2017	500		15,931,753	
Long	TOPIX Index June Futures	06/2017	200		(75,200,000)	
Short	US Treasury 2 Year Note (CBT) June Futures	06/2017	(450)		(8,480,256)	
Short	US Treasury 5 Year Note (CBT) June Futures	06/2017	(235)		(4,114,863)	
					¥	62,089,663

ファンドレベルでの為替予約取引残高

取得	取引相手	契約額	決済日	売却	契約額	未実現 評価損益	未実現 評価損	未実現 評価損益 (純額)
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	6,053,108,800	04/07/2017	USD	53,000,000	¥ 153,075,404	¥ -	153,075,404
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	3,091,264,000	04/07/2017	GBP	22,000,000	22,495,692	-	22,495,692
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	16,982,000,000	04/07/2017	EUR	140,000,000	354,921,615	-	354,921,615
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	73,751,930,000	04/07/2017	USD	658,000,000	502,458,776	-	502,458,776
USD	Brown Brothers Harriman & Co.	103,201	04/10/2017	JPY	11,471,544	15,686	-	15,686
						¥ 1,032,967,173	¥ -	1,032,967,173

(2017年3月31日現在)
(円で表示)

デリバティブの額

取引相手	デリバティブ 資産の額	デリバティブ 負債の額
店頭デリバティブ		
為替予約	Brown Brothers Harriman & Co. ￥ 1,032,967,173	￥ -
マスターネットティング契約の対象とな らないデリバティブ合計	<u>1,032,967,173</u>	<u>-</u>
貸借対照表におけるデリバティブ合計	<u>￥ 1,032,967,173</u>	<u>￥ -</u>

通貨略称

EUR	-	Euro
GBP	-	Great British Pound
JPY	-	Japanese Yen
USD	-	United States Dollar

マネー・プール マザーファンド

《第17期》決算日2018年1月15日

[計算期間：2017年7月15日～2018年1月15日]

「マネー・プール マザーファンド」は、1月15日に第17期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第17期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券率	債先物比率	純総資産額
		期騰	落中率				
	円		%		%		百万円
13期(2016年1月14日)	10,049		0.0	70.3	—		852
14期(2016年7月14日)	10,050		0.0	62.2	—		241
15期(2017年1月16日)	10,047		△0.0	—	—		355
16期(2017年7月14日)	10,046		△0.0	—	—		284
17期(2018年1月15日)	10,046		0.0	—	—		707

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券率	債先物比率	債券率
		騰	落中率				
(期首)	円		%		%		%
2017年7月14日	10,046		—		—		—
7月末	10,046		0.0		—		—
8月末	10,046		0.0		—		—
9月末	10,046		0.0		—		—
10月末	10,046		0.0		—		—
11月末	10,046		0.0		—		—
12月末	10,046		0.0		—		—
(期末)							
2018年1月15日	10,046		0.0		—		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

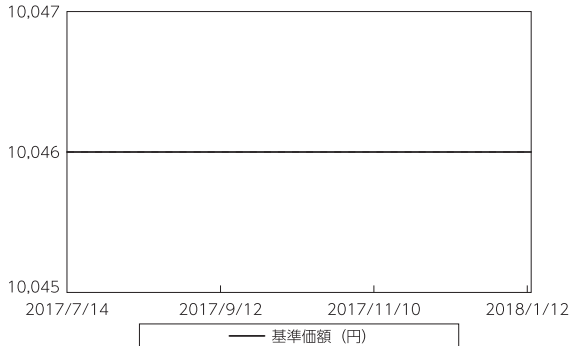
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ横ばいとなりました。

基準価額等の推移



●投資環境について

<無担保コール翌日物金利の推移>

- ・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。日銀のマイナス金利の適用を受けて、足下はマイナス0.03%程度で推移しました。

<国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移>

- ・日銀による短期国債の買入れなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りはマイナス0.1%を下回る水準で推移しました。2017年9月上旬にかけて地政学的リスクの高まりや短期国債の需給引き締めなどからマイナス0.23%程度まで低下しました。その後、一時的に上昇したものの、11月下旬にかけてマイナス0.25%程度まで低下しました。期末にかけては短期国債の需給緩和などから上昇し、足下はマイナス0.14%程度で推移しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・わが国のコール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、利子等収益の確保および適正な流動性の保持を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は期首と比べて横ばいとなりました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引などへの投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2017年7月15日～2018年1月15日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2017年7月15日～2018年1月15日)

その他有価証券

		買付額	売付額
国内	コマーシャル・ペーパー	千円 24,699,988	千円 24,699,989

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2017年7月15日～2018年1月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年1月15日現在)

国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 199,999	% 28.3

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2018年1月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
その他有価証券	千円 199,999	% 28.3
コール・ローン等、その他	507,890	71.7
投資信託財産総額	707,889	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年1月15日現在)

項目	当期末 円
(A) 資産	707,889,947
コール・ローン等	507,890,052
その他有価証券(評価額)	199,999,895
(B) 負債	562
未払解約金	27
未払利息	535
(C) 純資産総額(A-B)	707,889,385
元本	704,659,552
次期繰越損益金	3,229,833
(D) 受益権総口数	704,659,552口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,046円

<注記事項>

- ①期首元本額 283,155,785円
 期中追加設定元本額 597,292,626円
 期中一部解約元本額 175,788,859円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0046円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2013-12	99,582円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-02	99,572円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-03	99,572円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-04	99,562円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-09	99,553円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-12	99,533円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2014-12	99,533円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし) 2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2015-03	99,523円
新興国公社債オープン(通貨選択型)円コース(毎月決算型)	1,692,054円
新興国公社債オープン(通貨選択型)米ドルコース(毎月決算型)	200,000円
新興国公社債オープン(通貨選択型)豪ドルコース(毎月決算型)	1,008,738円
新興国公社債オープン(通貨選択型)南アフリカ・ランドコース(毎月決算型)	63,697円
新興国公社債オープン(通貨選択型)ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	6,316,452円
新興国公社債オープン(通貨選択型)マナー・プール・ファンド(年2回決算型)	7,028,725円
世界投資適格債オープン(通貨選択型)円コース(毎月決算型)	5,154,901円
世界投資適格債オープン(通貨選択型)米ドルコース(毎月決算型)	49,966円
世界投資適格債オープン(通貨選択型)豪ドルコース(毎月決算型)	995,161円
世界投資適格債オープン(通貨選択型)ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	2,234,005円
世界投資適格債オープン(通貨選択型)中国元コース(毎月決算型)	28,349円
世界投資適格債オープン(通貨選択型)インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	1,013,875円
世界投資適格債オープン(通貨選択型)マナー・プール・ファンドII(年2回決算型)	6,981,713円
新興国公社債オープン(通貨選択型)中国元コース(毎月決算型)	19,989円
マナー・プール・ファンドIV	1,095,658円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)円コース(毎月決算型)	4,314,823円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)米ドルコース(毎月決算型)	119,857円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)豪ドルコース(毎月決算型)	769,078円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	15,855,020円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)中国元コース(毎月決算型)	19,977円

○損益の状況 (2017年7月15日~2018年1月15日)

項目	当期 円
(A) 配当等収益	△ 14,464
受取利息	751
支払利息	△ 15,215
(B) 当期損益金(A)	△ 14,464
(C) 前期繰越損益金	1,305,358
(D) 追加信託差損益金	2,747,457
(E) 解約差損益金	△ 808,518
(F) 計(B+C+D+E)	3,229,833
次期繰越損益金(F)	3,229,833

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	554,401円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 資源国通貨バスケットコース (毎月決算型)	1,608,548円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンドV (年2回決算型)	15,920,294円
米国高利回り社債ファンド (毎月決算型)	999円
米国高利回り社債・円ファンド (毎月決算型)	999円
米国高利回り社債・ブラジル・リアルファンド (毎月決算型)	999円
マナー・プール・ファンドVI	580,662,025円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	19,961円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 分配型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 分配型	99,561円
トレンド・アロケーション・オープン	997,308円
エマージング社債オープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり	99,682円
エマージング社債オープン (毎月決算型) 為替ヘッジなし	99,682円
リスク・パリティ α オープン	995円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	19,925円
米国エネルギーMLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり	996,215円
米国エネルギーMLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジなし	996,215円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インド・ルピーコース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) マレーシア・リンギコース (毎月決算型)	99,602円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・リアルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・リアルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (毎月決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンドIX (1年決算型)	19,618,001円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンドX (年2回決算型)	24,545,371円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジあり)	4,979円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジなし)	4,979円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	99,562円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジありコース (年2回決算型)	9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,957円

US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース (年2回決算型)	9,957円
優先証券プラス・オープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替プレミアムコース (年2回決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース (年2回決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース (年2回決算型)	9,956円
米国成長株オープン	996円
世界CoCosオープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	9,953円
世界CoCosオープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,953円
世界CoCosオープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,953円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 年2回決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 年2回決算型	9,952円
合計	704,659,552円

【お 知 ら せ】

当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。

(変更前 (旧) <http://www.am.mufg.jp/> → 変更後 (新) <https://www.am.mufg.jp/>)

(2018年1月1日)